

# 1920年代のRCA,AtwaterKentなどのラジオ

## ～1929年の主な出来事

1906年	世界初のラジオ放送(実験段階)
1914年 ～18年	第1次世界大戦
1919年	RCA設立 ※
1920年	世界初の公共ラジオ放送
1925年	東京放送局(JOAK)の放送開局(日本初)

## RCA Radiola の主なモデル

1922	<b>3</b> <b>2球再生式</b>	: 小型、普及版
1925	20 高周波2段5球再生式	: 3の高感度化
24	高周波1段中間周波1段6球スーパー	: ホータブル
1927	17 高周波3段7球ストレート式	
1928	<b>18</b> <b>高周波3段7球式</b>	: <b>17の改良、交流化版</b>
1929	33 高周波3段7球式	: 18の金属キャビネット版
60	高周波2段中間周波2段9球スーパー	: 超高価

## Atwater Kent の主なモデル

1924	10A 高周波2段5球式	: ブレッドボード版
1925	20C 高周波2段5球式	: 10Aのケース版
1926	30 高周波3段6球式	: 20Cの高感度化
	32 高周波4段7球式	: 30の高感度化、高価版
	35 高周波3段6球式	: 30の安価版
1927	<b>33</b> <b>高周波3段6球式</b>	: <b>35の高感度化</b>
1928	49 高周波3段6球式	: 33の安価版

※ **赤印**は那須科学歴史館の展示品



RCA Radiola III  
2球再生式(1924)



Crosley Model 51  
2球再生式(1924)



Atwater Kent Model 10A  
高周波増幅2段6球のストレート方式(1924)



RCA Radiola 26  
6球スーパーヘテロダイ  
(1926)



Beckly Ration  
高周波増幅2段5球の  
ストレート方式(1926)



RCA Radiola 26  
高周波増幅3段7球の  
ストレート方式(1928)



Atwater Kent Model 33  
高周波増幅3段6球の  
ストレート方式(1927)